

横浜ベイブリッジ一般部(国道357号)及び本牧・大黒臨港道路の開通について

記者発表資料

横浜ベイブリッジ一般部(国道357号)及び本牧・大黒臨港道路が平成16年4月24日(土)に開通することとなりましたので、お知らせします。

横浜ベイブリッジは2層構造の斜張橋で、これまでに上層部の自動車専用道路(首都高速湾岸線)が平成元年9月に供用していましたが、このたび、下層部の一般部(国道357号)及び、地上部から横浜ベイブリッジへ連絡する本牧・大黒臨港道路が完成開通する運びとなりました。この開通により、現在横浜中心市街地を通過しているコンテナ車をはじめとする自動車交通が本道路に転換し、横浜中心市街地の交通混雑緩和に寄与することが期待されます。

なお、一般開放に先立ちまして、開通式典を実施する予定です。詳細な時間等については、後日お知らせいたします。

平成16年3月11日

国土交通省関東地方整備局

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	さいたま新都心記者クラブ
神奈川建設記者会	横浜海事記者クラブ
神奈川県政記者クラブ	横浜市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所
電話 045-311-2981

副 所 長 おくち やすお 小口 安雄 (内線204)

工務課長 おくら きみゆき 小椋 公之 (内線411)

国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所
電話 045-451-8659

副 所 長 きむら いわお 木村 岩男 (内線102)

第二工務課長 せんだ こういち 仙田 孝一 (内線330)

事業の概要

(1) 概要と目的

横浜ベイブリッジは、東京湾岸道路の一部として横浜港港口部となる横浜市鶴見区大黒ふ頭と同市中区本牧ふ頭を結ぶ、2層構造の斜張橋で、上層部を自動車専用道路(首都高速湾岸線)、下層部を一般道路(国道357号)として計画されました。

このうち、自動車専用道路(首都高速湾岸線)については、平成元年9月に供用しています。

現在、本牧及び大黒ふ頭では、横浜港における外貨コンテナ貨物の約8割が取り扱われ、両ふ頭は横浜港のコンテナ物流の拠点となっています。

しかしながら、両ふ頭間で輸送されるコンテナ車等は、首都高速湾岸線(横浜ベイブリッジ)または市街地の一般道を利用しており、物流コストの増大や市街地の交通混雑の原因となっています。

このため、通称「コンテナ通り」とも呼ばれている、一般国道133号などの横浜中心市街地の交通混雑緩和及び、大型車交通量(コンテナ車等)の低減を図るとともに、国際港横浜の本牧・大黒ふ頭間での物流効率化の促進等を図ることを目的として、平成10～11年度に「横浜ベイブリッジ一般部(国道357号)及び本牧・大黒臨港道路」の事業に着手いたしました。

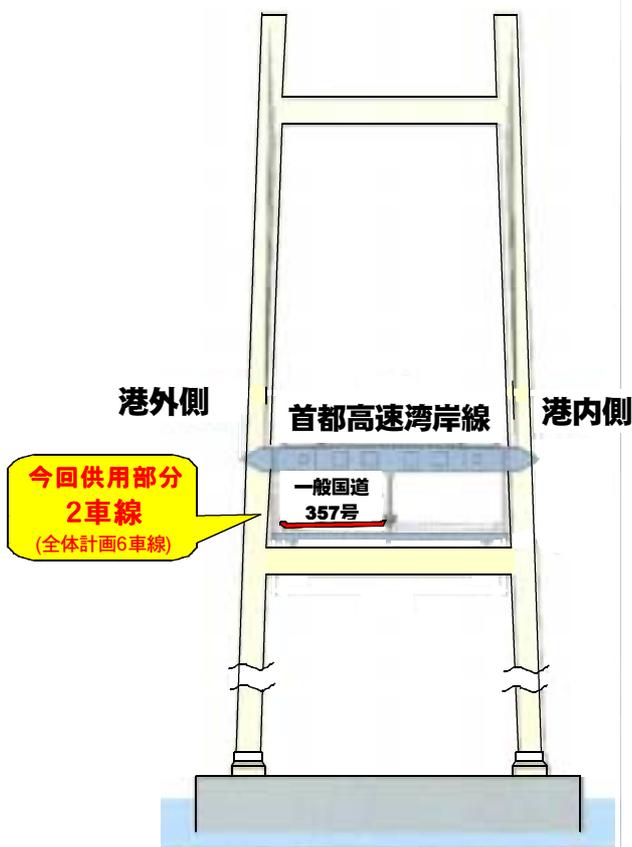


(2) 事業経緯

昭和55年11月	首都高速湾岸線(横浜ベイブリッジ)着工
平成元年9月	首都高速湾岸線(横浜ベイブリッジ)供用
平成10年12月	横浜ベイブリッジ一般部(国道357号)事業着手
平成11年8月	本牧・大黒臨港道路港湾計画決定・事業着手
平成12年3月	「横浜ベイブリッジ一般部(国道357号)及び本牧・大黒臨港道路」起工式

(3) 諸元等

横浜ベイブリッジ 断面図



区 間

起点：横浜市鶴見区大黒ふ頭
終点：横浜市中区本牧ふ頭

延 長

一般国道357号：約2.2km
臨 港 道 路：約4.7km

道路区分

一般国道357号：第3種第1級
臨 港 道 路：B規格ランプ

設計速度

一般国道357号：80km/h
臨 港 道 路：40km/h

車線数

一般国道357号：暫定2車線
(全体計画 6車線)
臨 港 道 路：完成2車線

